

MID 2007

## 新 ISI Web of Knowledge 誕生

トムソンサイエンティフィック

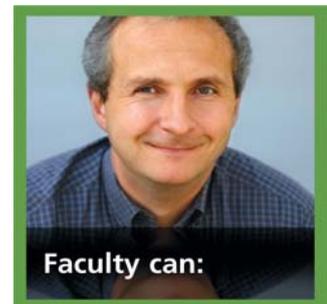
[scientific.thomson.com/jp/](http://scientific.thomson.com/jp/)

検索の初心者から上級者まで、すべての検索レベルの研究者との協力で開発された、  
これまでにない新しいアプローチが採用されました。



- 「わたしみたいな超初心者の学生でも、かんたんに使いこなせるの。」
- 「読まなければならない論文にすぐアクセスできるのが最高！」
- 「ややこしいテクニックはぜんぜん必要ないのよ。学際的、国際的で、とにかくはじめからすべてがそろっているんだから。」

- 「学生たちに“信用のおけるリソース”として、紹介しているよ。」
- 「これひとつで、研究に関わるすべての作業が完結する—すばらしいだろう。」
- 「自分や同僚たちの論文について、調べてみるのが楽しいんだ。どの国の誰に引用されているんだろう？ってね。」
- 「世界中の研究者にどんなインパクトを与えているのかが、すぐにレポートできるんだ。自分とはちがう分野の研究者にも影響を与えているかもしれない。エキサイティングだよ。」
- 「最先端の情報をしっかりと押えておくんだ。研究資金の獲得には欠かせないツールになっているよ。」



- 「この新しいインターフェースは、あらゆるユーザのニーズを満たしてくれます。このようなサービスを提供できるということ自体が、図書館ひいては大学にとって喜ばしいことと言えるでしょう。」
- 「ジャーナルを購入し続けていく分野、そして新たに費用を投じて開拓すべき分野—これらを“引用分析”という手法を通じて、図書館やマネジメント層が合理的に判断できる唯一のツールです。」
- 「同じ大学の中でも学部間でどのぐらい発表論文数に違いがあるのかを比較するのに長けています。すなわち『どの研究分野にどのぐらい研究資金を割り当てるか』この根拠となるデータを入手できる—これはマネジメント層にとって、かなり魅力的です。」

詳しくは次の URL まで [scientific.thomson.com/jp/knowledgelink](http://scientific.thomson.com/jp/knowledgelink)